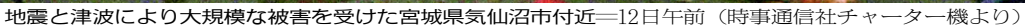


大津波10メートル 東日本巨大地震



3000人の遺体が発見されたが、現場に近づけない状況という。宮城県名取市の海岸でも1000人程度の遺体が見つかったとの情報があり、被害は拡大している。

	人的被害（人）			建物被害（戸）		
	死者	不明	負傷	全半壊	全半焼	
北海道			1			
青森		3	59			
岩手	202	214				
宮城	84	42	166	21		1
秋田			6			1
山形	1		7	100		
福島	98	514	206	2400		76
茨城	8	3	367	58		8
栃群	3		90	11		
群馬	1		18			
埼玉			19	7		1
東京	9	8	87	13		6
神奈川	4		72			
高知	3		29			
合計	413	784	1128	2610		93

※12日午前11時半現在。未確認情報を含む
この他、仙台市で 200～ 300人の遺体が発見されているもよう

線路明、宮城警署は東松島市のＪＲ野蒜駅付近で、この脱線した列車から乗客ら９人、別の列車からも１人を救出した。海上保安庁と自衛隊の住民に避難を指示した。圧力が上昇したため、破壊を防ぐため弁を開いた。微量の放射性物質が放出される恐れがあり、政府は半径10キロ以内

東日本大地震報道のため 別紙面となっています。	本日誌は特
沿河の町跡形なく	2、3面
破壊断層南北400m*	4、5面
↓勝を襲った爪痕	21面
漁船なき倒し港無残	22、23面
街のみなみは自然の牙	24面

テレビ	6～8
農業ガイド	9
文化・書評	10、11
スポーツ	12～14
せいかつ掲示板	15
ぐるっと町村	16～19
地元ニュース	
業界往来	20

は、石巻市の造船会社から流された2隻の船に乗っていた112人全員を救助した。岩手県警によると、三陸鉄道南リアス線でも列車1本が不明との情報がある。

東電によると、福島第一原発2号機は冷却機能が停止

国内最大M8.8宮城震度7

▼別紙面となつています。	東日本巨大地震報道のため、	本日17
▼治時の町跡形なく	▼破壊断層南北400m*	2、3面
▼十勝を襲った爪痕	▼漁船をき倒し港無残	4、5面
▼街をのみ込む自然の牙		2、24面
		23面
		21面
		5面
		3面
		24面
テレビ	6~8	
農業ガイド	9	
文化・書評	10、11	
スポーツ	12~14	
せいかつ掲示板	15	
ぐるっと町村	16~19	
地元ニュース		
業界往来	20	

各地で「壊滅」被害拡大

福島原発、炉心溶融か

付近でセシウム検出

保安院によると、1号機周
 辺で、放射線医学総合研究所
 のチームが放射性物質のセシ
 ムを検出。セシウムは核燃
 料棒に含まれており、二
 高ことから、炉心溶
 こしている可能性が高
 測されるという。

のチェルノブイリ原発事故（旧ソ連）では炉心溶融で爆発、いずれも大量の放射能が放出される惨事になった。

検出

走して高熱になり炉を破壊する最悪の現象。1979年のスリーマイル島原発事故（米国）では冷却材喪失で、86年

保安院などによると、同原発1号機は12日午前から原子炉冷却水の水位が低下。一時は核燃料棒が冷却水の水面から露出し、核燃料の損傷が懸念されていた。

十勝港
2.8
トメル

沿岸4町 670人公民館に

豊田町では大津漁協の漁船20隻と車岡組合が流れ、漁船は陸に打ち上げられるなどした。漁協の荷さばき所の機械類が大津に流かった。

浦幌町では漁船10隻が流され、厚内地区の7戸で床下浸が。大樹町でも大樹漁港で旭地区の漁船2隻が流れられた。同漁協内の漁協事務所も水に浸った。

11日午後には避難した住民は1日正午現在、4町で約24人が避難所にいる。

し、乗客はバスで代替輸送した。12日は特急が札幌・帯広間でやり返し運転となり、浦幌・根室間は引き続き運転を見合わせた。

道路は、国道の38号（浦幌町直別―釧路市大栗毛間39㌔）、3366号（浦幌町トイツキ―勝太間6・1㌔と広尾ツキウシ―日高管内えりも町野原間32・3㌔）、道4道4線が津波の恐れがあるため通行止めとなった。

帯広開発建設部、10勝総合庁舎、10勝機動警察隊は通行規制や警備などのために、池田町警察署に計約50人を派遣した。

（吉良敦）

初の大津波警報

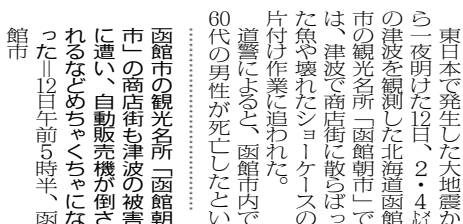
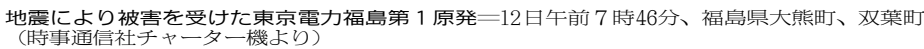
札幌管内（気象庁）によると、道内での大津波警報発令は、日本海沿岸対面した1993年、北海道西沖地地震以来2度目。10勝を含む太平洋沿岸への発令は今回が初めて。

帯広警察署と10勝機動警察隊は通行規制や警備などのために、池田町警察署に計約50人を派遣した。

（吉良敦）

初の大津波警報

住民8万人が避難開始



朝市に津波がれき散乱

商店街の通路にはテレビや木製の棚が散乱。ポータブルストーブから漏れた油のにおいも。店内から40歳ほど流されたショークースにロープをくくり付け、男性8人で運ぶ姿も見られた。中には「どこから

負傷多数、32カ所で火災

一日午後、東京都千代田区九段南の九段会館で、天井が落下するとして、都内で5人が死亡、49人が負傷したことが警視庁の調査で分かった。

同日によると、九段会館では「階ホールの天井が縦約30センチ、横約15センチにわたって崩落。下敷きになった東京観光専門学校の非常勤講師の小林桂子さん（50歳）」「町田市玉川学園（50歳）ぐらいの女子が死亡し、9人が重傷、17人が軽傷を負った。同会館内では同

東京電力福島第1、第2原発の周辺住民への避難指示を受け、国土交通省は12日、近隣のバス会社9社のバス60台を確保し、住民の避難を進めた。

国交省によると、避難の対応を示している上、風向きが陸から海方向のため、海田江産産相は「安全性は保たれている」と思う。落着いて対応するようお願いする」と述べた。

東電によると、現状では1号機の圧力が最も高いが、これから先に蒸気を放出するかは状況に応じて判断し、事前に関心者に通告する。格納容器が壊れるほど圧力が高くなると、予防措置を取ることにしたという。

燃料棒が一時露出

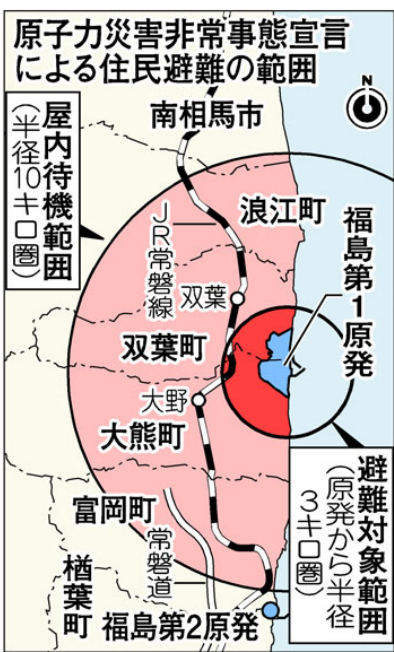
見し、東京電力から、福島第1原発1〜3号機の原子炉格納容器内部の減圧のため容器の弁を開放したとの報告を受けた、容認したと発表した。

操作では微量の放射性物質を含む蒸気が大気中に放出される恐れがあるが、半径30km以内の住民に緊急避難、同30km以内の住民に屋内待機

東京電力福島第1原発1号機で12日午前、原子炉内の冷却水の水位が低下し、一時的に燃料棒が水面から露出する状態になった。東電は消防車を使い、炉内に水を注入。水位は回復しつつあるが、同社は燃料棒が一部損傷した可能性もあるとみている。

東電によると、1号機は同日前中から冷却水の蒸発が激しくなり、一時的に燃料棒の頂部からマイナスイオン50秒まで水位が低下した。

通常の原発（軽水炉）では、冷却水を循環させて燃料棒の熱を取り除くため、冷却水が熱かわれると燃料棒の破損から炉心溶融など重大な事故につながる恐れがある。



長野県北部で震度6強

雪崩や土砂崩れ相次ぐ

12月午前3時59分ごろ、信越地方で地震があり、長野県北部で震度6強の揺れを観測。同日4時31分～5時42分にも同じ地域で震度6弱の揺れを観測した。気象庁によると、最初の地震の震源地は同県北部で、震源の深さは約8キ、地震の規模「マグニチュード」は6・7と推定される。東日本を襲った大地震との直接の関係はないとみられる。

今後1カ月間は震度6弱程度の余震が予想され、震源が浅いため6強の揺れもあり得るという。

震度6強を観測した長野県米村は同日午前11時、一部地区を除く804世帯、2055人に役場や学校への避難を指示した。高圧電線の復旧作業に伴う停電が予定されたためという。

同県によると、同村内で崩れた砂が川をせき止めて天然ダムができたと可能性があるという。決壊の恐れがあるため、県は約50戸の約1500人に避難指示を出した。同村で次復旧している。

は土砂崩れてツッセ車庫が脱線したほか、隣接する新潟県津南町で起きた雪崩で道路が通行止めとなり、約130世帯約3000人が一時孤立した。

新潟県では、十日町市で土砂崩れが発生。男女2人が行方不明になり、間もなく救助されたが、うち女性1人が頭部を骨折を負った。県内の負傷者は計20人で、いずれも軽傷。雪崩や土砂崩れで多数方の通行規制があったが、順次復旧している。

同市では、雪崩や土砂崩れで川がせき止められるなどして、約110世帯に避難勧告が出され、津南町でも4世帯に勧告が出された。

最初の地震の主な各地の震度は次の通り。

震度6強…長野県米村
震度6弱…新潟県十日町市、津南町
震度5強…新潟県上越市、群馬県中之条町
震度5弱…長野県野沢温泉村、新潟県長岡市、柏崎市、刈羽村



手をつけていかかからない」と諦めて帰る男性もいた。 「昨晚3回くらい店に来ようとしたが、通行が駄目だった」と話す海産物卸業の堀内英男さん(56)は、午前4時にとっとり着いたのが、停電のため閉店を待って作業を開始。店内に散ばっていた魚を片付けながら、一晩却処分のしかない」と途方に暮れた。	ロケチレンを吸引し、死亡した。 町田市小山ヶ丘のスーパー「コストコ多摩境」で、2階から3階に向かうスロープが倒壊して車3台が巻き込まれた。車内に閉じ込められていた2人のうち、助手席にいた女性(66)の死亡を確認した。
校の卒業式の最中だった。江東区北砂の金属加工会社では、工場長の谷安浩さん(64)一同北砂と作業員の来摩民男さん(64)と千葉市稲毛区あやめ台が地震でこぼれたとみられるリク	3人が負傷し、首都圏高速道路パーキングエリアでは、停車中の観光バスに乗っていた2人が頭を打つなどの軽傷で、病院に搬送された。 このほか、都内では転倒や転落で2人が軽傷を負った。
がれきに左脚を挟まれており、同行と警視庁は余震を警戒しながら、慎重に救出活動が続いている。 三鷹市上連雀の市立三鷹第3小学校で、体育館の天井付近の壁が崩れ、5年生3人が軽傷という。	千葉県浦安市の東京テイズニールディングでは、駐車場が水浸しになっていた。 東京消防庁によると、都内では江東、墨田、中央、大田、豊島各区などの計32カ所で火災が発生し、江東区のお台場のビルが豊島区池袋へ含まれ、6人が負傷した。
た。	深夜、火力発電所に約3000人と2緒に避難したとの返信があり、「目の前に津波が来いています。全員無事です。しかし、これを最後として連絡は途絶え、「心配だ」とやつれた様子だった。 新幹線などの券売機前には長蛇の列ができ、「いつ開れるのか」との声が続く。 港区のJR新橋駅では午前7時ごろ、一部電車の運転再開のアナウンスが流れると、待ち構えた人々が一斉に改札へ。母の墓参りの帰りだった品川区の清水幸子さん(68)は駅構内が寒くて一睡もできなかったが、「駅のお店の人々が、温かいスープを持ってきてくれたのがうれしかった」と語った。

東北地方太平洋沖地震の影響で、交通機関は一日、各地が大きく乱れた。ＪＲ東日本は新幹線と、首都圏、東北地方の在来線全線で同日中の運行を取りやめ、首都圏の私鉄有線や地下鉄も軒並み運転を中止させた。このため多くの乗客が駅難者が発生、枝野幸男房長官は同日夜、全省庁に「駅難者向けに駅周辺の公共交通開放などを指示した」。

一夜明けた１２日、東京都内では、交通網がまひして帰宅できなかった「首都圏難民」がふくれ、駅構内や都庁、学校などで不安な朝を迎えた。警視の集計によっても、都内の帰宅困難者は１０万人を超えた。

ＪＲ東京駅の構内で一晩過ごした千葉県南房総市の会社員山田加奈子さん（３８）は入らなくて、壁に寄りかかって座れる場所がないほどだったとてっきりとした表情。構内を歩き回り、クッキーを少しずつ食べてしのいだのが、子供が心配だと話した。

千葉県米良成雄さん（５９）は同僚約５０人が被災地の福島県相馬市にいたという。１１日午後からメールを送り続け再開した。

茨城の青山学院大学の講堂名を冠して約９０００人が身を寄せた。母親と避難した千葉県柏市の会社員林有希さん（２４）は「余震が気になって眠れなかった」と疲れた表情。同大ではエコノミー症候群など３人が緊急搬送されたという。

ＪＲ東日本鉄道各社は１２日、首都圏の在来線各線で、同日午前７時ごろから順次運転を再開した。本数は通常（３線５割）で、同９時現在、山手線は内回りのみ、京浜東北線は上宮～桜木町間で再開した。

太平洋岸の町 跡形なく



地震と津波により壊滅的被害を受けた福島県南相馬市付近＝12日午前（時事通信社チャーター機より）

南相馬、気仙沼…

跡形もなく消えた家屋。なぎ倒された木、ひっくり返ったトラック…。東日本を襲った巨大地震。津波が住宅地まで押し寄せ、壊滅的な被害を受けた福島や宮城などの太平洋岸では12日、一見して陸地なのか、海面なのか、判然としない風景が広がった。相次ぐ余震に荒れ狂う火災。福島では原発トラブルが発生し、放射能への不安も広がる。

一夜明けた12日朝、地震による津波被害を受けた福島、宮城両県の海岸線を飛行機で北上し、生々しい爪痕が残る被災地を上空から見た。1800世帯が壊滅状態になったとされる福島県南相馬市では、まるで湖ができたような光景が広がり、町が完全に消えていた。同県相馬市では、水の中にぽかんと住宅が浮かび、津波で流されたとみられる船が町

一帯水没、黒煙空高く 爆撃受けたような光景

のあちこちでひっくり返って

いる。少し北上すると、道の真中に流された住宅があった。木材やがれきが散乱し、津波になぎ倒されたとみられる木々も無残な姿をさらしていた。

宮城県多賀市の仙台空港の一角は、水没し、滑走路の黄色いラインが断続的に見える。管制塔だけがはっきりと見えている状態だ。同市周辺では、白い煙が上がり、流された住

宅が折り重なるように、塊になっていた。仙台南港近くのコンテナ

場では、黒煙がもうもうと不気味に空高く上がる。ここでも、流された複数の住宅が折り重なるようになっていた。海の方を

見ると、数え切れないほどのコンテナとみられる物体が浮かんできた。同県気仙沼市の上空に入る

と、状況さらに悪化。11日の大規模火災で、町はまるで爆撃を受けた後のようだった。白い煙があちこちから上がり、港に停泊している船からも煙が見えた。海には流



地震と津波による被害で黒煙を上げる仙台南港付近＝12日午前（時事通信社チャーター機より）



避難所となった小学校の廊下で休息する市民ら＝11日夜、仙台市

数百人犠牲の仙台市若林区 途方に暮れる住民 迫る津波、命からがら脱出

東日本巨大地震で、津波により2000～3000人が犠牲になったとみられる仙台市若林区の荒浜地区。一夜明けた12日、付近には日が昇るにつれ、爪痕がくっきりと現れた。海岸近くでは津波で押し流された松の木などが道路を寸断。港に立ち並ぶ工場地帯からは黒煙が上がり、煙が道路脇の田んぼは跡形もなく水没し、浮かんだ車も多数確認された。

避難所の小学校が満員で、校庭に止めた車内で、夜を明かしたという土曜日の男性（55）は、同地区の自宅内の様子について「ひどいよ」と一言。男性は自宅の階段で津波を確認し、「1F先まで追ったところで逃げ出した。このくらいのスリットから分らないが、重機を押し流しなが

避難者21万人超 把握できず 宮城県は東日本巨大地震で、12日前9時現在、福島県など東北・北関東5県の避難者は約21万5600人になることが警察庁への取材で分かった。

同庁によると、内訳は青森県で約240カ所、約1万8700人、岩手県で約120カ所、約2万4200人、福島県で約420カ所、約10万

ら津波が迫ってきた」と、恐怖を振り返った。朝6時ごろに、避難所の小学校から同地区にある自宅の様子を見に来たという大工の男性（56）は「家の中は泥と松の木が流れ込み、量もちり上がっていた。1層ぐらいの高さまで津波が襲った痕がある」と驚きを隠さない。

「地デジを控えて買い替えた42型のテレビも水に漬かって、いた」と目を落し、「家のローンがあるのだから、校庭に止めた車内で、夜を明かした」と疲れた表情で話した。男性によると、同7時ごろに、ヘリコプターが民家から5歳ぐらいの子と大人を5人つり上げて救助しているのを目撃したという。

周辺は救助隊の車のサイレンが鳴り響き、ヘリコプターが上を旋回。避難所で一夜



倒木などが横たわる泥道を歩く人＝12日午前、宮城県岩沼市

港も津波により滑走路が冠水。駐機してあった小型機が潮流にのまれ、敷地の隅では尾翼や翼の一部だけが、水面から顔を出していた。滑走路の下を通るトンネルは冠水し通行不能。ターミナルビルに通じる道もまるで川のような状態になり、辺りにはガソリンのようなおもひも漂っていた。

「レスキューの人が舟で進んでいったと近くで運送業者を営む男性は驚いた様子。空のトラックがあるが、冠水は長さ数m、首まで漬かるほど深い場所もあり、たかり着けない。もう駄目だね。男性は元気がなくつぶやいた。

ボートで 次々救出

宮城・多賀城市

巨大地震の発生から約1時間後に津波に襲われた宮城県多賀城市を流れる砂押川付近。一夜明けた12日も浸水が引かず、早朝から取り残された人々が自衛隊のボートで次々に救助された。

住民らによると、津波が上陸すると、黒く光る重油のような液体が一気に押し寄せ、走っていた車が押し流されたという。

連絡が取れなかった息子の様子を見に行く途中という仙台市宮城野区の会社員茂永礼子さん（53）は「人が走って逃げてくると思ったら、車の周りに水がたまっていた」と振り返る。一緒にいた家族と避難できたが、「親族が無事ならいいが」と不安を隠さなかった。

大地震の津波の影響で冠水した道路を見詰める人たち
12日午前、宮城県石沼市



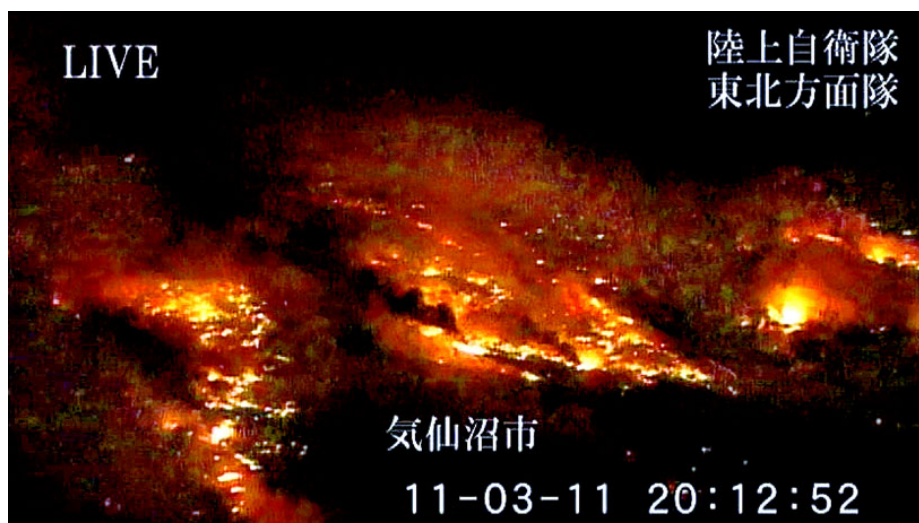
がれき、水、火：
街のむ巨大地震



避難所を出て、がれきと泥水に覆われた道路を歩きながら自宅へと向かう人たち＝12日午前7時ごろ、仙台市若林区荒井笹屋敷付近



地震と津波により大規模な火災が続く宮城県気仙沼市＝12日午前
(時事通信社チャーター機より)



自衛隊が撮影した宮城県気仙沼市の火災状況＝11日夜
(陸上自衛隊東北方面隊提供)